

メディカル英語 No.10

医学英語の総仕上げ —— 論文・ガイドライン・症例報告・患者文書を横断する

📖 導入

Abstract・症例報告・ガイドライン・患者教育資料——これらを「同じ医学英語」として横断的に読めるようになりましたか？総仕上げとして、4種類の文書を一気に読み比べます。

🎯 講義概要

同一疾患（例：急性心筋梗塞）について、RCT論文Abstract・ガイドライン推奨文・症例報告・患者説明資料の4種類を読み比べ、文体・語彙・構造の違いを体系的に整理します。

✅ 授業目標（この授業が終わったらできること）

- 4種類の医学英語文書（論文・ガイドライン・症例報告・患者資料）の文体の違いを説明できる
- 同じ医学的事実が4種類でどう表現されるかを対比して説明できる
- 場面に応じた適切な医学英語の読み方・書き方を選択できる

📑 授業構成

1. 4種類の文書の文体・語彙・構造の比較
2. 論文 vs ガイドライン：エビデンスの強さの表現の違い
3. 症例報告 vs 患者資料：専門性の高低による表現の変化
4. 総合読解演習：AMIに関する4文書の横断読み

📄 課題

急性心筋梗塞（AMI）について、(1)RCT論文のResults文、(2)ガイドラインの推奨文、(3)症例報告の提示文、(4)患者向け説明文、それぞれ1文ずつ書け。文体・語彙の違いを意識すること。